

平成28年度 ケアハウス事業報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1. 施設入居状況

(1) 月別入居者数 (毎月末日の在籍者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	11	11	11	11	11	10	9	9	9	9	8	8	9.7
女性	54	54	54	54	55	52	52	53	53	54	57	55	53.9
合計	65	65	65	65	66	62	61	62	62	63	65	63	63.6

【平均入居者数】 63.6名 (充足率 79.5%)

※施設定員 80名 (1人部屋72室 2人部屋4室)

(2) 月別新入居・退去者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	3	0	8
退去	1	0	0	1	0	4	1	0	1	0	1	2	11

【主な入居理由】

- 介護が必要になり自宅での生活が困難になったため 3名
- 認知症により自宅での生活が困難になったため 2名
- 独居での生活が不安になったため 1名
- 老人保健施設を退所となったため 1名
- 夫が介護状態となり介護の負担軽減のため 1名

【主な退去理由】

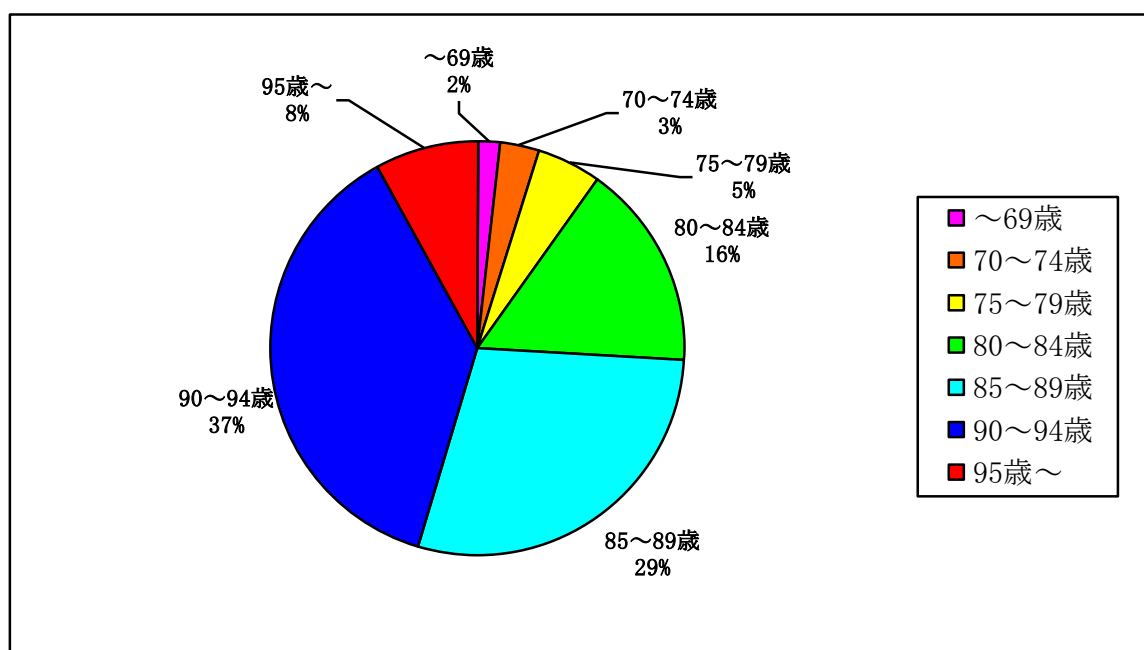
- ご逝去のため 4名
- 長期入院のため 1名
- 医療的対応が必要となったため 1名
- ご家族の自宅近くの施設へ入居のため 2名
- 家族と同居するため 2名
- 自己都合のため 1名

(3) 入居者年齢別内訳 (平成 29 年 3 月末)

	~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95歳~	計
男性	0	0	0	1	5	1	1	8
女性	1	2	3	9	13	22	5	55
合計	1	2	3	10	18	23	5	63

【全 体】 最高年齢 98 歳(男性) 最低年齢 67 歳(女性) 平均年齢 87.6 歳

【年齢別割合】



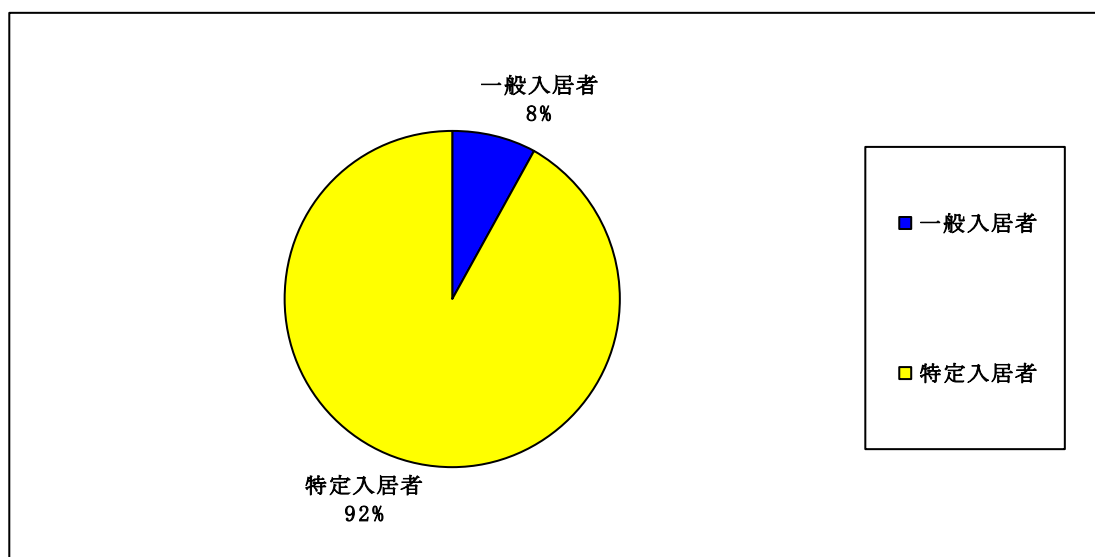
2. 特定事業利用状況

(1) 月別利用者数（毎月末日の利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	7	7	8.3
女性	50	50	50	50	50	47	47	48	50	51	53	51	49.7
合計	59	59	59	59	59	56	55	56	58	59	60	58	58

【平均利用者数】 58名（充足率 93.3%） ※利用定数 62名

【全入居者数における特定利用者数の割合】（平成29年3月末）

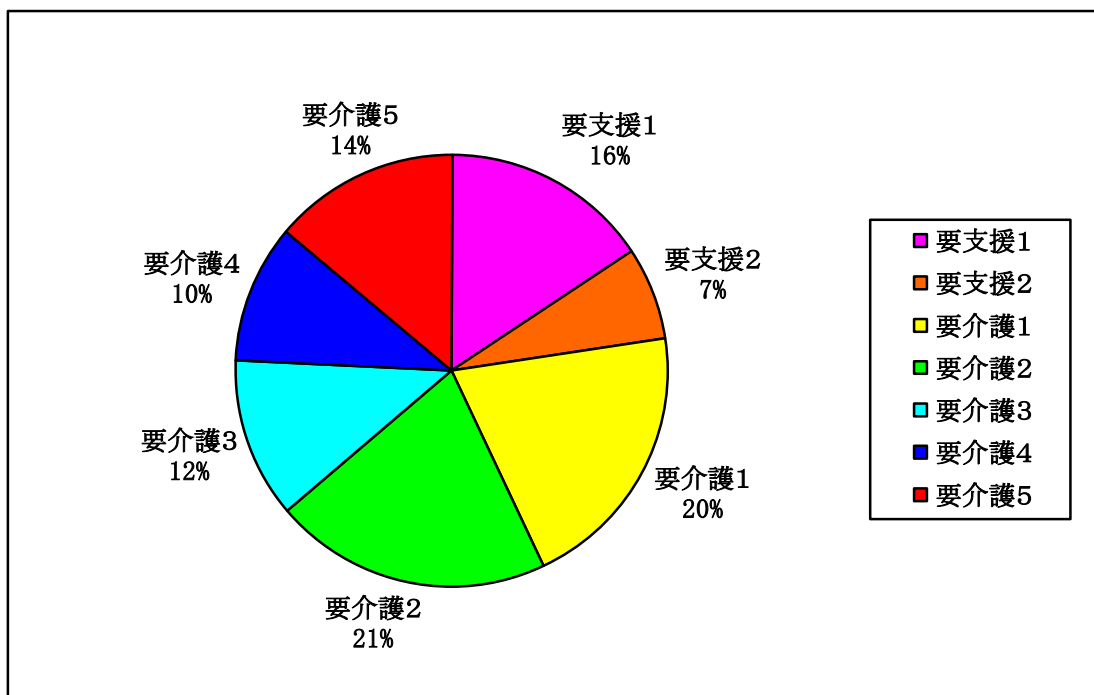


(2) 特定利用者介護度内訳 (平成 29 年 3 月末)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男性	1	0	2	3	1	0	0	7
女性	8	4	10	9	6	6	8	51
合計	9	4	12	12	7	6	8	58

【平均要介護度】 2.2 ※要支援 1 は 0.5 要支援 2 は 0.66 とし て計算

【介護度別割合】



3. 職員状況（平成 29 年 3 月末）

	常勤 専従	常勤 兼務	換算数	非常勤	換算数	休職中	合計
施設長	1						1
介護職員	12	2	1	4	2.4		15.4
看護師	3						3
生活相談員	1	1	0.5				1.5
計画作成担当者		1	0.5				0.5
管理栄養士	1						1
事務職員	2						2
設備管理職員	3			1	1		4

4. 必要職員配置（平成 29 年 3 月末）

	特定利用者数	合計	必要職員数	在籍職員数（介護・看護職員）
要支援 1	9	13	2	18.4
要支援 2	4			
要介護 1	12	45	15	
要介護 2	12			
要介護 3	7			
要介護 4	6			
要介護 5	8			

※ 職員配置基準

介護職員・看護職員の合計人数で、『要支援 1 10 人に対して 1 人以上』、『要介護 1～5 の方 3 人に対して 1 人以上』の配置が必要。

一般入居者に対しては、特定利用者数に対する配置職員がいる場合は配置しなくてもよい。

5. 事業内容特記事項

平成 28 年度は、入居者の ADL の低下や認知症の進行により、より個々に応じた多様なサービス提供が求められるようになってきた。そのため、ケアマネジャーを中心にケアプランの見直しに取り組み、入居者のニーズを汲み取るためにどのように関わっていくかということに重点をおいてきた。また、ご家族にも参加していただくケアカンファレンスを実施し、ご家族様と担当職員が集まって話し合い、お互いに理解を深めて情報を共有できる場を設けて、よりニーズに沿ったサービス提供ができるように努めてきた。平成 29 年度も引き続き、個々のニーズに応えられるケアの実施に積極的に取り組むと共に業務改善にも努めていきたいと考えています。